授業科目名・形態	看護総合（卒業試験含む）　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	岩間　薫　　他	実務経験の有無	有	開講期	4年前期・後期
科目ナンバリング	N7-4017npmht				

【授業の主題】

看護学学習の集大成となる科目であり、看護専門職として必要な総合力を身に付ける。これまで習得した看護学に関する基礎および専門分野の知識と技術などを振り返り、理解不十分であった点や疑問点などを見出し、学生自らが学習成果を確認することで看護実践力を養う。なお、この科目には卒業試験も含む。

【到達目標】

1. 専門分野ごとの授業を通して、看護専門職の基礎部分についての系統別学習ができる。
2. 専門分野ごとの授業を通して、国家試験の出題傾向に応じた学習のポイントを理解できる。
3. 小テストでは、必修問題および一般・状況問題の正解率が国家試験合格基準以上のである。
4. 卒業試験に合格する。

【授業計画・内容】

第 1 回　前期オリエンテーション
第 2 回　国家試験の概要
第 3 回　人体の構造と機能
第 4 回　人体の構造と機能
第 5 回　人体の構造と機能
第 6 回　疾病の成り立ちと回復の促進
第 7 回　必修問題
第 8 回　基礎看護学
第 9 回　成人看護学
第 10 回　成人看護学
第 11 回　成人看護学
第 12 回　精神看護学
第 13 回　在宅看護学
第 14 回　老年看護学
第 15 回　小児看護学
第 16 回　後期オリエンテーション
第 17 回　基礎看護学
第 18 回　在宅看護学
第 19 回　成人看護学
第 20 回　成人看護学
第 21 回　精神看護学
第 22 回　小児看護学
第 23 回　母性看護学
第 24 回　老年看護学
第 25 回　看護の統合と実践
第 26 回　公衆衛生看護学および健康支援と社会保障制度
第 27 回　公衆衛生看護学および健康支援と社会保障制度
第 28 回　まとめ①
第 29 回　まとめ②
第 30 回　まとめ③

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行うので主体的に授業に参加すること。

【事前・事後学習】

課題学習、試験対策等を含めトータル 30 時間程度の自主学習を行うこと。

【主な関連する科目】

看護学に関する基礎および専門分野の科目

【教科書等】

専門基礎科目および専門科目の授業に使用した教科書、随時資料配布

【参考文献】

国家試験過去問題集　等

【成績評価方法】

筆記試験（90%）、授業への取り組み姿勢（10%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

国公立大学医学部附属病院での看護職（看護師・助産師）として患者やその家族への対応等の実務経験あり。
実務経験から得た看護実践に関する知識や技術等を授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

受験まで日々の学習の積み重ねが大切です。そして、国家試験合格への道を自分の力で切り開いていきましょう。